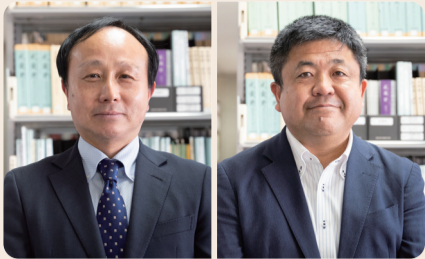


お話を伺いました



公益財団法人たましん地域文化財団  
常務理事 館長 宇治 康さん  
歴史資料室 室長 坂田 宏之さん

たましん地域文化財団  
<https://www.tamashin.or.jp>

たましん美術館  
多摩信用金庫 本店 1F (JR立川駅北口徒歩6分)

たましん歴史・美術館 (6F)  
歴史資料室 (5F)  
多摩信用金庫 国立支店 5F・6F  
(JR国立駅南口徒歩2分)



歴史資料室



多摩のあゆみ

公益財団法人  
たましん地域文化財団



たましん美術館



たましん歴史・美術館

Check! 用語解説

●公益財団法人

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づいて設立された、公益を目的とする事業を行う法人のこと。その事業は「学術、技芸、慈善その他の公益に関する事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」とされ、幅広い社会貢献や文化の振興、まちづくり支援事業、福祉保健医療分野の支援事業など、様々な領域の公益財団法人が運営されている。

参考：公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律

地域に眠る資源を発掘し  
文化を紐解き継承する

「文化の振興につとめることで、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに、豊かな生活と活力ある地域の文化形成に貢献していくこと」

地域に価値を創造する  
美術と歴史の文化振興

「文化」とは、人間の衣食住や価値観など、暮らしに関わる全ての領域にわたり、自然や地域、他者との関わりの中で育まれていくものです。文化庁は、人間の豊かな感性を育み、共生社会の基盤を形成する上でも、文化が重要な役割を持つと位置付けており、「社会全体で文化芸術の振興を図っていく必要がある」としています(※)。

公益財団法人(左「用語解説」参照)

である「たましん地域文化財団」は、多摩地域の美術や歴史の文化振興を担うべく1991(平成3)年に設立され、多摩地域全域の資料収集や展示、季刊郷土誌の発行などに取り組みできました。

同財団常務理事 館長  
を務める宇治康さんは、財団の使命についてそう話します。

事業の軸の一つとなっているのは、多摩信用金庫の本支店や同財団で無料配布している季刊郷土誌『多摩のあゆみ』の発行です。1975(昭和50)年に財団の母体である多摩信用金庫(当時・多摩中央信用金庫)により創刊されて以来、現在に至るまでおよそ50年にわたり多摩地域の郷土史について研究や取材を重ね、発行を続けてきました。

同財団歴史資料室室長の坂田宏之さんは、『多摩のあゆみ』の編集担当として、多摩地域の郷土資料館などの博物館や各自治体の図書館、研究者などとネットワークを構築しながら、その歴史を掘り下げてきた一人です。「『多摩のあゆみ』は、地域の皆さまに読んでいただけるような、茶の間の郷土誌」を目指して、多摩川や鉄道などの基本的なテーマからスタートしました。多摩地域を歩き回って、様々な自治体から写真や資料をいただいたり、郷土史家の先生を紹介していただいたりしながら『多摩のあゆみ』を企画・編集しています」と坂田さん。最新号である193号まで発行を続けるうちに、同誌は地域の関係機関や研究者をつなぎ、郷土史研究を深める一翼を担うようにもなりました。

現在、国立駅前にある歴史資料室には、創刊時から長年をかけて収集した、多摩地域30市町村それぞれの

いつでも誰でもアクセス可能  
歴史資料室の  
デジタルアーカイブ

『多摩のあゆみ』のバックナンバーや、歴史資料室所蔵の地図やチラシ、絵葉書などの資料が歴史資料室のデジタルアーカイブで公開されています。特に『多摩のあゆみ』バックナンバーは現在、創刊号から120号までの全ページをインターネット上で読むことができ、各種資料と併せて多摩地域の風土や文化を知る貴重な資料となっています。  
<https://adeac.jp/tamashin/top>



の開催も行なっています。

さらに多摩信用金庫本店にできた地域貢献スペースも、若手作家を中心に美術大学の学生など、これから世に出ていくアーティストたちの発表の場として、同財団により運営されています。

豊かな文化形成へ寄与する地域に根ざした取り組みは、積み重ねられてきた文化を紐解くなかで、今を生きてきた人と地域をつなぎ直し、そこに新たな文化を生み出しています。

「私たちは民間だからこそ、行政区域に縛られずに広い視野で歴史を考察することができそうです。幅広く連携し様々な視点で文化への貢献を考えることができるのです」と坂田さん。現在はデジタルアーカイブの充実や他機関との連携の強化など、時代に合わせた取り組みも推進する同財団。社会全体で文化を振興し後世へ役割を担い発展を続けていきます。

※文化庁HP「文化を大切に社会の構築について ～一人一人が心豊かに生きる社会を目指して」